

2月25日、学習会「朝鮮学校をとりまく差別問題を考えよう～子どもたちの笑顔を守りたい～」を県・北九州・福岡地区の朝鮮学校を支援する会が合同で開催しました！！



○学習会には約120名が集まりました。講師のキムサンギョン先生（龍谷大学大学院教授）の熱くリアリティーに溢れた講演に続いて、質疑応答。最後に、福岡県朝鮮学校を支援する会の中村元気代表が、「この問題は日本政府の問題、私たち一人ひとりの問題であると思います。みんなで力を合わせてしっかり取り組んでいくことを誓い合いましょう！」と閉会の挨拶をされました。



○キムサンギョン先生の講演で、自身が日本学校に通名で通い、「日本人のように」振る舞わざるを得ない中で、「在日」をネガティブにしか捉えられずに成長したという体験は、日本学校の中での人権尊重がいかに不十分であるかを再度重く感じました。朝鮮学校はアイデンティティを育む場です。朝鮮人が朝鮮学校を選択することは、日本人が外国で日本人学校を選択することと同じであり、さらに日本で暮らし納税義務を果たしている立場もまた同じです。朝鮮学校だけ差別するべきではないと強く思いました。また、ヘイトスピーチや朝鮮学校の無償化除外は、異なる者、異質な者への強い差別や排斥の表れという視点は、納得のいくお話でした。今回はじめて開催した合同学習会は大変意義深いものでした。今後も共に学ぶ場を持ち、朝鮮学校支援の輪を広げていきましょう。

福岡朝鮮初級学校「文化芸術発表会(学芸会)」に参加して・・・感動をありがとう！！

○2月26日に行われた「文芸発表会～胸を張って歩いて行こう～」に朝鮮学校の保護者や多くの同胞のみなさんと一緒に私たち支援する会のメンバーも参加しました。



○合唱「胸を張って歩いて行こう」で始まった発表会では、歌・英語発表・器楽演奏・演劇・民族舞踊・民族打楽器など、素晴らしい演技が次々に披露されました。堂々と胸を張って演じる子どもたちの姿を目の当たりにして、「朝鮮学校の子どもたちは、朝鮮と日本の平和の架け橋を担っていてくれる」、そう感じながら涙があふれました。「本当によく頑張ったね。とてもよかったよ。」幕が閉じても拍手喝采は止まることなく続いていました。



「朝鮮高校無償化即時適用実現全国統一行動に連帯する福岡県民集会」が行われました

○2月25日午後4時より行われた集会は、日本の支援者、学校関係者、九州朝鮮中高級学校の生徒さんをはじめ100名以上の参加がありました。集会では、主催者を代表して朝鮮学校を支える会会長で弁護士の服部弘昭さん、訴訟弁護団事務局長の金敏寛さん、九州朝鮮中高級学校3年生の呉明希さんの挨拶につづいて保護者代表、支援団体、全国の状況報告として3名からメッセージがありました。最後に、アピール採択と行動提起、団結がんばろう三唱で閉会しました。

○終了後、千早駅前市民の皆さんに「高校無償化即時適用」を訴えました。



